

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業委員会事務局

内線 425

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業委員が積極的に委員活動を実施し、①耕作放棄地の発生防止・解消②担い手の確保・支援③農業・農村の活性化を基本に産業として自立しうる農業づくりに努める。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	1. 優良農地確保のために農地制度を適正に執行 2. 耕作放棄地の発生防止・解消対策の推進 3. 担い手の確保・育成と担い手への農地利用集積の推進 4. 地域の農業の振興に向けた実践活動の展開						
	H24最終予算額	8,868	千円	H24決算見込額	8,335	千円	H25当初予算額	8,745

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業委員会運営事業					
	予算科目	6.1.1.					
	実施状況	委員報酬4,584千円(会長216千円、委員26名×168千円)、委員費用弁償466千円、農業委員長連絡協議会等負担金182千円、砺波市農業委員運営協議会補助金273千円、農地制度実施円滑化事業事務補助賃金645千円、農地流動化調整活動報償費135千円、「農家相談のしおり」作成232千円、農業委員会委員選挙人名簿取扱い手数料129千円、農業者年金カード整理事務補助賃金340千円、農業者年金用パソコン購入146千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業委員会運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	農業委員会活動として必要な経費。「農家相談のしおり」についても利用権設定や耕作委託の情報となっている。また、その経費についても農地制度円滑化事業や農業者年金受託事業の対象経費としている。平成24年度において、新たに窓口に農業者年金用パソコンを導入、市民サービスの向上を図る。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	委員報酬や事務的経費であり、経費節減に努めて実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	委員報酬や事務的経費であり、経費節減に努めて実施する。
	中長期的 (3~5年)	委員報酬や事務的経費であり、経費節減に努めて実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	—

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	特産振興作物の生産振興を図り、生産性の高い農業を確立						
	H24最終予算額	11,931	千円	H24決算見込額	12,195	千円	H25当初予算額	12,801

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	水田農業構造改革対策事業	
	予算科目	6.1.3.1	
	実施状況	農業者戸別所得補償制度推進対策指導費補助金 10,223千円 (市農業再生協議会)	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	水田農業構造改革対策事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			農業者戸別所得補償制度の加入促進、加入手続き、現地確認等の推進事務費として必要

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	名称は経営所得安定対策に変更になったが、引き続き加入促進、加入手続き等の推進事務費として、市農業再生協議会へ支援していく

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  名称は経営所得安定対策に変更になったが、引き続き加入促進、加入手続き等の推進事務費として、市農業再生協議会へ支援していく

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<b>維持</b>
今年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	特産振興作物の生産振興を図り、生産性の高い農業を確立						
	H24最終予算額	23,805	千円	H24決算見込額	14,323	千円	H25当初予算額	20,045

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	水田農業構造改革推進対策事業					
	予算科目	6.1.3.2					
	実施状況	水田利活用推進助成事業補助金	10,926千円	特産振興奨励事業	903千円	環境保全型農業直接支払交付金	2,402千円

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	水田農業構造改革推進対策事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	特産振興や生産振興を図るため必要であるが、成果が見えにくい。 環境にやさしい農業は今後さらに必要性が求められる。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	環境保全型農業直接支援事業の推進 63ha 23経営体

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	特産振興を図るため、作付面積の拡大や複合経営の確立を図る

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>水田農業における園芸作物の振興、担い手農家の複合経営の推進に助成をしている県の助成事業等であり必要である</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	中山間地域の農地の保全						
	H24最終予算額	28,674	千円	H24決算見込額	25,266	千円	H25当初予算額	25,978

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中山間地域農業活性化対策事業					
	予算科目	6.1.6.1					
	実施状況	中山間地域等直接支払交付金事業補助金 24,314千円 20集落で実施 面積 140㌖					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中山間地域農業活性化対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	中山間地域の活性化対策として必要不可欠。					

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	3期対策の4年目の取組を推進する。

Action (改善)	来年度 (H26)	4期対策の実施があれば、取組集落の継続・拡大を図る。 20集落→27集落
	中長期的 (3~5年)	中山間地域の特産振興等を推し進めるために、事業の実施を始め特産物の作付面積拡大や複合経営の確立を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	特産振興を図るため、作付面積の拡大や複合経営の確立を図る

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  中山間地域における多面的機能の保全と耕作の放棄地の発生防止を目的とした国の施策であり、不可欠な事業である		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由			
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価			
今年度評価 の理由			

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 411

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や特産振興化に努め、中山間地域の活性化を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	12,000	千円	H24決算見込額	6,000	千円	H25当初予算額	2,500

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中山間地域総合整備事業					
	予算科目	6.3.2.6					
	実施状況	中山間地域総合整備事業負担金 6,000千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中山間地域総合整備事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  中山間地域農業の多面的機能の維持及び安全・安心な食料の安定供給のため重要な事業である。		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	<b>維持</b>		
今年度評価 の理由			

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	市谷健康増進広場の維持管理						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	市谷健康増進広場の維持管理						
	H24最終予算額	73	千円	H24決算見込額	56	千円	H25当初予算額	73

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	林政推進事業費①					
	予算科目	6.2.1.2					
	実施状況	トイレ消耗品・電気料金・上下水道料金					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	林政推進事業費①					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	地元において適正に管理されている。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	適正な維持管理に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	適正な維持管理に努める。
	中長期的 (3~5年)	適正な維持管理に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	他の類似施設との管理水準の平準化。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・市の施設として最小限の維持管理は必要。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業	
前年度評価	<b>維持</b>	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	<b>維持</b>	
今年度評価 の理由	<p>市谷健康増進広場のトイレの維持管理について、現状維持とするが、その利用状況を把握し、将来的な管理について検討されたい。</p> <p>【平成26年度事務事業評価においても二次評価の対象とする】</p>	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	富山県西部森林組合等の負担金						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	富山県西部森林組合等の負担金						
	H24最終予算額	2,150	千円	H24決算見込額	1,956	千円	H25当初予算額	2,166

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	林政推進事業②（負担金）					
	予算科目	6.2.1.2					
	実施状況	富山県西部森林組合(1,584千円)・砺波林業協会(67千円) 富山県山林協会(250千円)・牛岳トンネル維持管理(27千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	林政推進事業②（負担金）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	県西部地域の林業関係の推進や振興、森林施業の効率化に対する負担金であり効果を発揮している。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	ありません。

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません。
	中長期的 (3~5年)	ありません。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・森林整備の重要性は年々増しており、森林関係の組織や人材の育成は今日的な重要課題となっている。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	林道の維持管理を地元住民に委託し、利便性を高める。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	林道の維持管理を地元住民に委託し、利便性を高める。						
	H24最終予算額	300	千円	H24決算見込額	282,000	千円	H25当初予算額	300

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	林道治山事業①（経常的経費）					
	予算科目	6.2.2.1					
	実施状況	林道維持管理委託(9路線 282千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	林道治山事業①（経常的経費）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	森林施業に必要な林道の維持管理であり、機能の維持継続をする必要がある。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	ありません。

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません。
	中長期的 (3~5年)	ありません。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・森林整備や搬出間伐を実施し、森林事業の採算性の向上には林道の適正な維持管理は重要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	林業に必要な施設の整備と災害防止を実施する。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	林業に必要な施設の整備と災害防止を実施する。						
	H24最終予算額	80,754	千円	H24決算見込額	42,704	千円	H25当初予算額	98,315

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	林道治山事業② (団体営林道整備事業)					
	予算科目	6.2.2.1					
	実施状況	横住奥山線 (28,277千円) 金剛寺線 (31,500千円) 県単治山工事 (3,171千円)・県単林道工事 (2,283千円) 償還金 (5,114千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	林道治山事業② (団体営林道整備事業)						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	森林施業に必要な林道の建設であり、事業を推進し早期の事業効果発揮に努める必要がある。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	(新規) 林業専用道の年内工事着手

Action (改善)	来年度 (H26)	林道整備計画の見直し
	中長期的 (3~5年)	他事業計画との調整
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	富山県西部森林組合・森林団体・住民（森林所有者）との合意形成

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・団体営事業で整備した林道に、森林組合が支線作業道等を整備することによって、適正な搬出間伐が実施できるようになりコスト削減に効果を上げている。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	森林の多様な恵みを後世に引き継ぐため、森林の保全と整備を実施する。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	森林の育成や森林の多面的機能の維持・増進を図るため、造林事業に支援する。						
	H24最終予算額	2,645	千円	H24決算見込額	2,202	千円	H25当初予算額	1,716

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	優良林木育成対策事業①（県単独森林整備事業補助）					
	予算科目	6.2.3.2					
	実施状況	県単独森林整備事業(2,612千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	優良林木育成対策事業①（県単独森林整備事業補助）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	人工林の保育や枝打ち・間伐等の森林整備を行ない森林の保全を図る必要がある。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	ありません。

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません。
	中長期的 (3~5年)	ありません。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・国の補助事業のほか細部を県単事業で補完し、森林整備の効果を上げている。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 412

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図るとともに、農村の景観や生態系へ配慮した取り組みを行うもの。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	40,507	千円	H24決算見込額	32,993	千円	H25当初予算額	32,082

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業土木総務					
	予算科目	6.3.1.2					
	実施状況	農業農村整備環境検討委員会の開催等 794千円 農地・水・環境保全向上対策支援交付金 32,199千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業土木総務						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農地・農業用用水等の資源の保全管理が、高齢化・混住化等によって困難となったことや、環境保全への理解と協力が得られ、市内61組織、農業振興地域の60%で取り組まれている。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	事業概要説明を行った結果として新たな活動組織も増え、市内の農業振興地域の6割において取り組まれることとなった。引き続き、農村環境の保全を行うもの。活動組織において、活動計画を作成するため事務説明会を開催し、適正な取り組みとなるよう指導を行うもの。

Action (改善)	来年度 (H26)	農地・水・環境保全向上対策を継続し、農村環境等の良好な保全と向上をめざし、地域共同の活動組織の取り組みについて支援する。
	中長期的 (3~5年)	事業継続や予算確保について要望活動を行うとともに、更に事務の簡素化など活動組織の負担軽減等、事務改善を図っていく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	昨年からの二期対策については、市内の殆どの活動組織が継続しているが、後継者不足により活動を継続しない組織があることから、事務局体制の在り方について指導を行い、役員の負担を軽減し、活動の継続を図っていく。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・農地・水保管理支払交付金事業は全体的に評価は高く、市の重点要望にも上げていることや、健全な散居景観の保全にも重要な事業である。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住みよい農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させる。						
	H24最終予算額	13,743	千円	H24決算見込額	2,528	千円	H25当初予算額	2,088

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農道整備事業補助					
	予算科目	6.3.2.1					
	実施状況	過年度施行農道整備事業償還補助金 2,528千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農道整備事業補助						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住みよい農村が継続された。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備に必要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に必要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に必要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連携調整を密にし、適正な採択となるよう指導していく。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・農作業の効率化や、農作物の荷傷み防止に必要な事業である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住みよい農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させる。						
	H24最終予算額	2,933	千円	H24決算見込額	2,933	千円	H25当初予算額	2,933

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	かんがい排水事業補助①（県営排水事業負担金）					
	予算科目	6.3.2.2					
	実施状況	県営造成施設管理体制整備促進事業負担金 2,933千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	かんがい排水事業補助①（県営排水事業負担金）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施手段の延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農村の都市化・混住化の進展に伴い、農業水利施設のゴミ処理や安全対策など農業以外の要因による農業者の負担が軽減された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農村の都市化・混住化の進展に伴い、農業水利施設のゴミ処理や安全対策など農業以外の要因による農業者の負担を軽減する。

Action (改善)	来年度 (H26)	農村の都市化・混住化の進展に伴い、農業水利施設のゴミ処理や安全対策など農業以外の要因による農業者の負担を軽減する。
	中長期的 (3~5年)	農村の都市化・混住化の進展に伴い、農業水利施設のゴミ処理や安全対策など農業以外の要因による農業者の負担を軽減する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	用土地改良区毎に市町村樹液面積の確認を行い、適正な負担金額を精査する。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・農業用排水施設は農業ばかりではなく、防火用水・消雪・生活用水・生態系の保全など多面的機能も発揮しており、それを農業者のみに負担をかけることは、不合理であり行政が支援すべきである。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	3,639	千円	H24決算見込額	3,639	千円	H25当初予算額	3,382

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	ため池等整備事業補助					
	予算科目	6.3.2.3					
	実施状況	過年度施行ため池等事業償還補助金 3,639千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	ため池等整備事業補助						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・中山間地における農業生産基盤に必要な用水確保は重要な事業である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 411

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	125,658	千円	H24決算見込額	65,708	千円	H25当初予算額	49,419

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	土地改良総合整備事業補助					
	予算科目	6.3.2.4					
	実施状況	経営体育成基盤整備事業負担金 62,700千円 過年度施行土地改良総合整備事業償還補助金 3,008千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	土地改良総合整備事業補助						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・砺波市の「ほ場整備」の歴史は古く、40年近く経過し農業用排水施設の老朽化が進んでおり、地域を上げて再整備をする事業は、農地の集積化や汎用化を促すためにも積極的に支援すべきである。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	1,904	千円	H24決算見込額	1,903	千円	H25当初予算額	2,545

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	維持適正化事業					
	予算科目	6.3.2.5					
	実施状況	維持管理適正化事業補助金 1,903千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	維持適正化事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・大型投資とならない農業用排水施設の局部維持修繕も補完的事業として重要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	82,876	千円	H24決算見込額	16,369	千円	H25当初予算額	23,149

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	かんがい排水事業補助② (団体営等)					
	予算科目	6.3.2.2					
	実施状況	庄川左岸地区排水対策促進協議会負担金 305千円 県単かんがい排水事業補助金 3,861千円 過年度施行かんがい排水事業償還補助金 12,203千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	かんがい排水事業補助② (団体営等)						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・農業生産には十分な用水確保が必要不可欠であり、積極的に支援すべきである。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

国営事業班

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	庄川左岸地区用排水対策促進協議会の負担金						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	庄川左岸地区用排水対策促進協議会の負担金						
	H24最終予算額	318	千円	H24決算見込額	318	千円	H25当初予算額	318

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	かんがい排水事業補助③（庄川左岸地区用排水対策分）					
	予算科目	6.3.2.1					
	実施状況	庄川左岸地区用排水対策促進協議会の負担金（318千円）					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	かんがい排水事業補助③（庄川左岸地区用排水対策分）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	平成23年度に負担金が見直されている。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	ありません。

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません
	中長期的 (3~5年)	ありません。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・「国営総合農地防災事業」並びに「附帯県営農地防災事業」の促進、予算の確保は、関係組織を挙げて取り組む課題であり重要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 413

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図る。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	1,433	千円	H24決算見込額	665	千円	H25当初予算額	1,660

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農地防災施設維持管理費					
	予算科目	6.3.3.2					
	実施状況	太郎丸調整池除草管理・市内調整池施設管理委託料 431千円 太郎丸調整池修繕費等 234千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農地防災施設維持管理費					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	農業の多面的機能の維持を図ることにより、安全・安心な食料の安定供給や活力ある住み良い農村が継続された。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備に重要な事業であり、県及び土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・既設の洪水調整池を適正に維持管理し、万が一に備えるために重要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農地林務課 農村整備係 内線 412

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	農業農村整備事業の施行により、農業生産基盤の整備による生産性の向上や農業生産の増大を図るとともに、農村の景観や生態系へ配慮した取り組みを行うもの。						
	施策名	生産基盤の保全・整備						
	施策の目的	安全・安心な食料を安定供給するためには、力強い農業の実現と活力ある住み良い農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠であり、農業の多面的機能を発揮し継続させるもの。						
	H24最終予算額	100	千円	H24決算見込額	99	千円	H25当初予算額	100

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業土木総務費諸負担金					
	予算科目	6.3.1.2					
	実施状況	土地改良事業団体負担金 99千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業土木総務費諸負担金						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	農業生産基盤の整備など土地改良事業の推進及び情報交換に関する負担金であり、効果を発揮している。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業生産基盤の整備や情報交換に重要な土地改良事業関係団体の負担金であり、県及び関係土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。

Action (改善)	来年度 (H26)	農業生産基盤の整備や情報交換に重要な土地改良事業関係団体の負担金であり、県及び関係土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	中長期的 (3~5年)	農業生産基盤の整備や情報交換に重要な土地改良事業関係団体の負担金であり、県及び関係土地改良区と調整を図りながら事業を推進していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業の多面的機能の維持や安全・安心な食料の安定供給を図るため、土地改良区との連絡調整を密にし、適正な採択となるよう指導を行う。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・土地改良事業の技術力向上に必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農政係

内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	地域コミュニティの推進と、これからの砺波型農業を支える人材育成を図る						
	H24最終予算額	47,715	千円	H24決算見込額	47,347	千円	H25当初予算額	44,773

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業行政事務	
	予算科目	6.1.2.2	
	実施状況	これからの農業を考える会の開催（7回開催） 595千円 地区集会施設等改修事業補助金（般若農業構造改善センター、中野農村振興会館） 2,258千円 ゆずまつり開催補助金 800千円 夢木香村伐採業務委託 494千円 夢木香村ダムウエーター修繕 798千円	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業行政事務			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	地区集会施設等改修事業補助金は老朽化した地区集会施設改修に必要な補助金である。 ゆずまつり開催補助金は特産作物の「ゆず」の生産振興にも結びつき必要である。				

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	生産振興に重要である。 指定管理施設である閑乗寺夢木香村センターハウスの自動火災報知設備受信機取替工事 432千円、給湯器取替工事 125千円を実施。

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	指定管理施設における設備の老朽化が目立ってきており、計画的に更新する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	ゆずの生産量を確保するため、作付面積の拡大や苗木の植栽を進める

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>ゆずまつり開催補助金はゆずのブランド化に不可欠な事業 地区集会施設等改修事業補助金は老朽化した地区集会施設改修に必要な 閑乗寺夢木香村の維持管理費も必要</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農政係

内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	地域コミュニティの推進と、これからの砺波型農業を支える人材育成を図る						
	H24最終予算額	47,715	千円	H24決算見込額	42,093	千円	H25当初予算額	44,773

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業共済負担金					
	予算科目	6.1.2.2					
	実施状況	農業共済事業事務費負担金 42,093千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業共済負担金					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	農業共済事務に必要な市町村負担金。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	農業共済事業事務費負担金であり重要である。 41,719千円。

Action (改善)	来年度 (H26)	平成26年4月に特定組合化（県内1組合化）となるため農業共済事業事務費負担金は廃止。
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input checked="" type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<small>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</small> H26. 4. 1で県内4農業共済組合が合併する		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業振興課 農産係 内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	地域コミュニティの推進と、これからの砺波型農業を支える人材育成を図る						
	H24最終予算額	65,389	千円	H24決算見込額	60,900	千円	H25当初予算額	50,343

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業経営等構造対策事業②（担い手育成事業）					
	予算科目	6.1.3.3					
	実施状況	雇用創出事業（チューリップ生産魅力発信事業） 6,000千円 集落営農法人化支援事業 1,200千円 農用地利用集積加速化促進費 11,169千円 農業経営体法人化支援事業 225千円 認定農業者等利用集積支援事業 1,000千円 砺波市担い手育成総合支援協議会補助金 500千円 がんばる女性起業発展支援事業 250千円 農地集積協力金 28,000千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業経営等構造対策事業②（担い手育成事業）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	集落営農法人化支援事業等の事業は、担い手対策、女性起業活動等に役立っている						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	集落営農法人化 800千円 経営体育成支援事業 6,225千円 認定農業者等利用集積支援事業 1,000千円 砺波市担い手育成総合支援協議会補助金 500千円 戸別所得補償経営安定推進事業補助金 30,000千円

Action (改善)	来年度 (H26)	経営の効率化や生産性の向上を図るため、関係機関に対し事業周知に努める。 集落営農組織等の法人化を推進する。2経営体。
	中長期的 (3~5年)	自立できる集落営農組織や担い手育成に向け、各指導機関の一層の支援が必要である。 集落営農組織等の法人化を推進する。5組織。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	集落営農法人化や新規事業採択には、新たな集積計画等要件が多くハードルが高いため、採択されにくい。また、貸し剥がしへと発展する可能性がある。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  国や県の事業で、担い手の経営規模拡大、経営安定のために必要である		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	農業経営の効率化、生産性向上をめざした認定農業者の育成、集落営農組織の育成を進める						
	H24最終予算額	597	千円	H24決算見込額	569	千円	H25当初予算額	597

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業者育成・確保対策事業	
	予算科目	6.1.3.4	
	実施状況	砺波市農業者協議会補助金 500千円	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業者育成・確保対策事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			<b>A</b>		
評価の理由等	担い手として地域農業を牽引する農業者の更なる育成・研修・情報収集機会の確保のため必要である。				

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	女性農業士の育成

Action (改善)	来年度 (H26)	異業種交流の推進
	中長期的 (3~5年)	農商工連携、6次産業化の推進。園芸作物の生産振興(複合経営)
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農業者が自立できる農業経営のためには、農業者間連携や地域間連携、農商工連携、6次産業化などを取り込むための地域農業に対する意識改革が必要。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  先進事例の視察に加え、先進的アドバイザーによる講習会、農業経営の意識改革に繋がる取り組みを積極的に取り入れる

## ■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持:これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善:実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化:事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大:対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小:対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合:目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止:廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

## ■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

Plan (計画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	集落営農組織や担い手農家の経営の安定化支援						
	H24最終予算額	12,979	千円	H24決算見込額	11,668	千円	H25当初予算額	12,900

## 平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	農業金融対策事業					
	予算科目	6.1.3.6					
	実施状況	農業経営基盤強化資金利子助成金 1,668千円 農業経営短期融資資金貸付預託金 10,000千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	農業金融対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			<b>A</b>				
評価の理由等	集落営農組織や担い手農家の経営の安定化に寄与している。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由						
	前年度二次評価に対する改善策						
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況						
	今年度(H25)	農業経営基盤強化資金利子助成金 2,890千円 農業経営短期融資資金貸付預託金 10,000千円					

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	集落営農組織や担い手農家の経営の安定化のために計画的な借入となるよう指導する。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input checked="" type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>農業経営短期融資資金貸付預託金は、農業者の短期の運転資金に有効な施策だが、利用者が限定されきている傾向にある。国の制度資金もあることから、規模の縮小も考慮しなければならない</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	<b>改善</b>		
今年度評価 の理由	市が実施する制度以外にも金融制度があり、また、利用者が限定されていることから、事業の縮小について検討すること。		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	となみ野農業協同組合や関係機関と協議のうえ、融資額の縮小を検討したい。
---------------------	-------------------------------------

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農政係

内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	農林業の生産基盤・経営体制の充実						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	後継者・経営組織の育成支援						
	施策の目的	農業環境改善施設の利用促進と適正管理						
	H24最終予算額	207	千円	H24決算見込額	207	千円	H25当初予算額	207

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	砺波農村環境改善センター管理運営事業					
	予算科目	6.1.7.1					
	実施状況	指定管理料 207千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	砺波農村環境改善センター管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
	評価の理由等	施設設置目的と実際の利用形態を検証し、より効率的な管理運営方法を検討する。					

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	文化会館との一体施設として管理の一元化を検討。

Action (改善)	来年度 (H26)	文化会館との一体施設として管理の一元化を検討。
	中長期的 (3~5年)	砺波農村環境改善センターの管理運用については、教育委員会所管施設とし、管理の一元化を進め事務の効率化を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	農村総合整備モデル事業で助成を受けている。補助金適正化法との関連を整理すること。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	ブランド化の取組支援						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	花き・球根、園芸、畜産の推進						
	施策の目的	農業公社を活用したチューリップ球根生産拡大と都市と農村との交流の活性化						
	H24最終予算額	65,389	千円	H24決算見込額	8,985	千円	H25当初予算額	50,343

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	農業経営等構造対策事業①（砺波市農業公社補助金）					
	予算科目	6.1.3.3					
	実施状況	（公財）砺波市農業公社補助金 8,985千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	農業経営等構造対策事業①（砺波市農業公社補助金）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	必要性はあるが、事業効果が見えにくい。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 農業公社の事業については、市民にあまり認知されていない。事業の内容や必要性等を含め、市民に制度が十分に活用されるような広報やPRの実施に向け検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	農業公社の事業については、ホームページのリニューアルなど、内外に向けたPR活動や情報発信を積極的に行う。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	事業PR強化への支援。ホームページの修正を実施。
	今年度（H25）	事業内容の充実を図るための人的支援

Action (改善)	来年度 (H26)	事業内容の充実を図るための人的支援
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市と農村との交流事業のあり方の検討、観光産業との連携強化による効率化</li> <li>チューリップ球根生産専用リース用機械の増強、更新への支援</li> </ul>
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益事業を行うために必要な自主財源を確保するための収益事業の強化</li> <li>新商品開発</li> </ul>

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>人農地プラン、農地集積協力金、規模拡大加算等の国の支援措置は、農地利用集積円滑化団体の利用調整が要件となっており、円滑化団体である農業公社は、農地の利用調整に積極的に取り組んでいかなくてはならない。 専用機械の貸出などチューリップ球根の生産振興により積極的に寄与していかなければならず、都市と農村の交流などでは今まで以上の取組みが求められる。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価	<b>改善</b>	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	<b>維持</b>	
今年度評価の理由		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農政係

内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	ブランド化の取組支援						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	花き・球根、園芸、畜産の推進						
	施策の目的	畜産農家の経営指導と育成および家畜伝染病予防と環境保全						
	H24最終予算額	3,952	千円	H24決算見込額	2,894	千円	H25当初予算額	1,883

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	畜産振興対策事業					
	予算科目	6.1.4.1					
	実施状況	基幹牧場経営安定推進協議会負担金 390千円 環境保全対策事業補助金等 400千円 畜産施設消臭対策事業補助金 1,764千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	畜産振興対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			<b>A</b>				
評価の理由等	対象経営体が減少し、事業効果が見えにくい。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	環境保全対策指導の推進・継続

Action (改善)	来年度 (H26)	環境保全対策指導の推進・継続
	中長期的 (3~5年)	関係機関との連携による畜産経営者に対する環境保全指導の強化
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	環境保全対策指導を行う上で、家畜伝染病予防上、畜産施設への立入り制限により経営実態の把握が困難

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input checked="" type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>畜産環境の保全等周辺住民への対策は大変重要だが、畜産農家の減少により（H25酪農5戸、養豚1戸）畜産団体への助成金（団体育成、共励会）等の見直し時期ではないかと考える。H26以降予算要求時から対所する。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業振興課 農政係 内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	ブランド化の取組支援						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	花き・球根、園芸、畜産の推進						
	施策の目的	チューリップ球根生産拡大や特産振興野菜等の生産体制の確立						
	H24最終予算額	21,169	千円	H24決算見込額	18,260	千円	H25当初予算額	28,269

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	園芸振興対策事業					
	予算科目	6.1.5.1					
	実施状況	チューリップ生産振興事業補助金等 4,096千円、とやまの園芸ブランド産地強化事業等 10,418千円、園芸生産チャレンジ事業 696千円、チューリップ球根新規生産振興モデル事業 1,485千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	園芸振興対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	花卉、球根、野菜等の生産振興と栽培技術や品質向上に必要な事業 チューリップ球根生産者の支援と新規生産者の発掘、頑張る意欲ある園芸生産者の育成、モデル経営体へは積極的な支援が求められる						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	チューリップ球根新規生産者の育成、新たな園芸生産者の発掘 頑張る意欲ある園芸生産者の施設整備等支援

Action (改善)	来年度 (H26)	チューリップ球根新規生産者の育成、新たな園芸生産者の発掘 頑張る意欲ある園芸生産者の施設整備等支援  目標：チューリップ球根新規生産者 最低1農業者育成
	中長期的 (3~5年)	チューリップ球根生産者の確保 たまねぎ産地化の確立、園芸作物の生産振興。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	チューリップ球根生産を維持していくには、高く売る販売戦略とさらなる生産コストの軽減が必要 主穀作をメインとしつつも、野菜や花卉を取り入れた複合経営を目指す。 地産地消戦略を足掛かりに、実需者とのマッチング、作る喜びを味わう儲かる農業のじ実現。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  意欲ある経営体には積極的に支援し、米を重視しつつも米との複合経営モデル経営体の育成を目指す。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農業振興課

農産係

内線 422

P l a n (計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	ブランド化の取組支援						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	水稻・大豆、種子の生産と品質の向上						
	施策の目的	生産体制の指導強化						
	H24最終予算額	2,756	千円	H24決算見込額	2,542	千円	H25当初予算額	2,756

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	営農指導対策事業					
	予算科目	6.1.3.5					
	実施状況	農協営農指導事業強化費補助金 1,294千円 砺波市営農指導協議会交付金 1,248千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	営農指導対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	農業者の生産性の向上のため、関係機関の指導体制を強化し、技術指導及び普及を行っている。					

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  県補助と関係機関連携する協議会活動であり現行どおり

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業振興課 農産係 内線 422

P l a n ( 計 画)	主要施策名	確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立						
	施策区分	ブランド化の取組支援						
	施策目標	明日へつながる農林業を育む						
	施策名	地産地消・販路拡大の推進						
	施策の目的	学校給食への食材提供、直売などによって販路の拡大を図る 地産地消の推進						
	H24最終予算額	1,941	千円	H24決算見込額	1,446	千円	H25当初予算額	2,940

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	米総合対策事業					
	予算科目	6.1.2.3					
	実施状況	とやま食材ふれあい講座事業委託料 200千円 元気とふれあいの学校給食づくり事業委託料 78千円 うまい米づくり生産拡大推進事業補助金 293千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	米総合対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	食育活動やとなみ米の消費拡大、普及推進・啓発のため必要である。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 食育推進計画については、県の方針を理解のうえ市の計画の進捗管理を行うとともに、複数の部課にまたがる場合は、適切に調整等を行うこと。 また、食育推進計画の実績について検証を行うこと。
	前年度二次評価に対する改善策	「砺波市食育推進計画」は、県の所管が農林水産企画課であることから農業振興課が取り纏め、食育基本法に基づき策定した。 また、計画の進捗管理については、「砺波市食育推進会議」において毎年1回実績について検証し、計画の見直し等を行っており、引き続き、関係部課である企画調整課、健康センター、教育総務課、学校給食センター、生涯学習・スポーツ課、こども課と調整し進めていく。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	食育推進会議を開催し、関係部署における食育活動の取組内容や数値目標の達成状況について検証を行った。
	今年度（H25）	食育推進計画に基づき食育を通じて健全な心と体を育成するとともに、市食育推進協議会を開催し地産地消の推進、地域の活性化を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	食育推進計画に基づき食育を通じて健全な心と体を育成するとともに、市食育推進協議会を開催し地産地消の推進、地域の活性化を図る。
	中長期的 (3~5年)	地元農産物の使用を更に拡大するなど、地産地消に努めるとともに食育活動を推進する。 学校給食の地元農産物の使用量 30%
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	学校給食センターとの情報交換、情報の共有

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>食育と地産地消は密接に関連しておりこれまで以上に積極的な取組みを進めていかなければならない。 H24からは県のとやまふれあい講座事業に取組み、公民館で行う食育活動を支援している。 毎年度末に食育推進会議を開催し、評価と見直しをしている。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	<b>改善</b>	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	<b>維持</b>		
今年度評価 の理由			

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n ( 計 画)	主要施策名	時代を先取る産業と伝統産業の振興						
	施策区分	企業誘致の推進						
	施策目標	地方経済の厳しい情勢下においても、産業振興は不可欠であり、特に時代を先取る成長産業等の企業誘致は必要であり、雇用の創出・確保や税収増の観点からも事業の推進を図る。						
	施策名	新しい企業の誘致						
	施策の目的	市内に立地する企業の誘致を図るため、商工業振興計画に基づき各種施策を実行する。						
	H24最終予算額	2,196	千円	H24決算見込額	1,790	千円	H25当初予算額	2,294

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	企業誘致対策事業		
	予算科目	7.1.2.2		
	実施状況	中京圏などへの企業訪問、展示会への参加	1,120千円	
		企業立地ガイドの作成	395千円	
		市内企業等に対する出展助成	275千円	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	企業誘致対策事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			<b>A</b>		
	評価の理由等	中京圏企業に対するアンケートの実施による企業訪問を実施するとともに、愛知県安城市、岐阜県多治見市・各務原市での展示会に出展するなど本市の立地環境のPRと市内企業のマッチング機会の創出を図った。また、都市圏での立地セミナーに参加し、市のPRを行った。			

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	首都圏へのアンケート調査による企業訪問の実施を行うとともに、企業誘致とビジネスマッチングの施策について、関係機関と協議を行う。また、中京圏企業に対しては、本市の企業見学と業種間交流の機会の創出を図るための施策を検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	北陸新幹線の開業や北陸自動車道の新インターの開通を控え、企業誘致やビジネスマッチングの具体的な手法について実践する。
	中長期的 (3~5年)	通年事業を実施するとともに、商工業振興計画に基づく中長期に実施する施策を実行する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	企業収益の減少や海外移転による国内企業の空洞化により工場閉鎖等が懸念される。また、企業誘致施策を積極的に実施するためには、専門部署と専門職員が必要である。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・雇用創出の確保、税収の確保等の点からも、企業誘致等の施策は必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n (計 画)	主要施策名	時代を先取る産業と伝統産業の振興						
	施策区分	企業誘致の推進						
	施策目標	工場団地の周辺整備を図ることにより、立地する企業が安心・快適な条件のもとで操業できることを目的として維持管理を図る。						
	施策名	新しい企業の誘致						
	施策の目的	市が管理する工場用地の環境整備を図るため、除草や排水路の泥上げ等を実施するとともに、各施設の管理や涵養田の調査研究を継続して実施する。						
	H24最終予算額	2,045	千円	H24決算見込額	1,466	千円	H25当初予算額	2,554

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	工業団地周辺環境対策事業					
	予算科目	7.1.2.3					
	実施状況	工場団地管理費（除草等）1,466千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	工業団地周辺環境対策事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			<b>A</b>					
評価の理由等	工業団地の維持管理は、団地造成以降実施してきており、受益企業との連携した取り組みの中で今後も実施していくことが不可欠である。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	排水路などの管理については、市及び企業などと連携して行うことにしており、泥上げ作業については、共同で行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	工場団地及び涵養田の維持管理
	中長期的 (3~5年)	工場団地及び涵養田の維持管理のほか、市有地の売買譲渡を行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	工業団地内に未利用地があることから、新たな企業を誘致するためにも、適正な管理に努める

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  企業誘致の推進のためには、工業団地の周辺環境の適正な管理が必要である。また、涵養田の維持管理は、環境保全の意味からも必要である。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n ( 計 画)	主要施策名	時代を先取る産業と伝統産業の振興						
	施策区分	起業家、既存産業の育成・支援						
	施策目標	企業で働く技術者が独立したり起業家精神が旺盛な方々や新分野進出を目指す人達に入居してもらい、創業にむけた研修・管理を行うことにより次世代の経営者を育成する。						
	施策名	ハイテク・ミニ企業団地の支援						
	施策の目的	本市の創業者の支援を行うため、団地建設費の償還を行う。						
	H24最終予算額	7,750	千円	H24決算見込額	7,750	千円	H25当初予算額	7,750

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	商工振興事業①	
	予算科目	7.1.2.1	
	実施状況	建設償還費 7,750千円/年 H29年度まで	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	商工振興事業①		
	必要性・妥当性	3	点 3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点 3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点 3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点 3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点 A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A ハイテク・ミニ企業団地の存続のためにも、事業開始以降から支援が必要となっている。		

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	現在の入居者が9社中8社であり、早急に1社の入居を目指す。

Action (改善)	来年度 (H26)	入居者の研修会などについては、関係機関が連携して一体となって進めていくことが重要
	中長期的 (3~5年)	既存入居者の独立に向けての用地の確保や支援を検討していく。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	厳しい経済情勢においては、独立して起業することは困難であるが、引き続き研修や商談会などの情報提供も進めていく。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  ・創業者支援の為に、必要である。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n (計 画)	主要施策名	時代を先取る産業と伝統産業の振興						
	施策区分	伝統産業の支援						
	施策目標	伝統工芸品の技術と魅力を消費者へ伝え、産業振興と商品販路拡大を図る。						
	施策名	新商品開発の支援 販路拡大の支援						
	施策の目的	伝統工芸品、特産品、新商品の開発を進めるとともに、消費者と交流を図るイベントの開催やPR用チラシの作成等に積極的に取り組み、産業振興と商品販売の拡大を図る。						
	H24最終予算額	1,200	千円	H24決算見込額	1,104	千円	H25当初予算額	1,130

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	地場産業振興事業					
	予算科目	7.1.2.4					
	実施状況	地場産業振興負担金・補助金等 1,104千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	地場産業振興事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	庄川挽物は、庄川扇状地の地勢及び風土から生まれた伝統産業であり、庄川木工まつりには多くの方が来場され、地場商品の販売が好調であった。 今後は、新商品開発と販売PRを行い、更なる知名度アップを図るもの。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	年間を通して、伝統工芸品のPR及び販路拡大を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	年間を通して、伝統工芸品のPR及び販路拡大を図る。
	中長期的 (3~5年)	伝統工芸品のPR及び販売体制について、再検討を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	組織の高齢化と後継者不足が最大の課題であり、次世代の後継者育成が重要である。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・庄川挽物は、地勢と風土から生まれた伝統産業であり、本市としても補助していくことは必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n (計 画)	主要施策名	にぎわいと魅力ある商店街の振興						
	施策区分	商店街の活性化						
	施策目標	商店街の人と人とのつながり、特産品の販売などと地域ぐるみの行事をマッチングさせることにより、地域の活性化を交流と人づくりといった観点から進めていくことが大事である。						
	施策名	各種イベントとのタイアップ						
	施策の目的	商店街の活性化を目的とした、まちなかイベントを開催し、人と人とのつながりや地域ぐるみの良さを来場された方に感じてもらうことにより、地域の活性化を交流と人づくりといった観点から進めていくことが大事である。						
	H24最終予算額	1,100	千円	H24決算見込額	1,100	千円	H25当初予算額	2,000

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	商工振興事業②					
	予算科目	7.1.2.1					
	実施状況	冬のふれあい市 900千円 エコ祭り 200千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	商工振興事業②						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	中心商店街が主体となって、関係団体が連携して進める事業は必要であり、今後も一部及び抜本的な見直しをかけながら実施することが必要である。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	獅子舞や太鼓などの伝統芸能を紹介する「やぐら大祭」を開催し、地元が一層盛り上がる方法を検討していく。(駅前夏祭り200千円、やぐら大祭900千円、冬のふれあい市900千円)

Action (改善)	来年度 (H26)	イベントの必要性、商店街の皆さんの意識づけなどを徹底的に見直すことが重要であり、やる気のある団体からの支援要請は受けることにし、そうでない団体には慎重に検討するもの。
	中長期的 (3~5年)	地元商店街の意見を聞きながら、一部に見直す部分と抜本的な見直しが必要となる場合には、中期的に見直すことが必要
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	商店街の後継者不足と未婚化が進んでおり、抜本的な対策が必要

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  ・商店街の活性化のためには、必要な事業である。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課

内線

P l a n ( 計 画)	主要施策名	にぎわいと魅力ある商店街の振興						
	施策区分	商店街の活性化						
	施策目標	砺波市商店街連盟、(協)砺波商店会の活動に対する支援を行う。						
	施策名	商店街活動の支援						
	施策の目的	商店街の振興については、自らが提案して実施することが重要であり、そうした積極的な取り組みに対して、支援を行う。						
	H24最終予算額	490	千円	H24決算見込額	490	千円	H25当初予算額	1,290

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	商工振興事業③	
	予算科目	7.1.2.1	
	実施状況	砺波市商店街連盟育成 90千円 (協) 砺波商店会育成 400千円	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	商工振興事業③			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			<b>A</b>		
評価の理由等	イベントや他の活動のすべてが、自主事業であることから、少しずつスタイルを変えての取り組みや若年層の参加が目立ってきている。				

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	商店街の活動のほか、新たに今後の商店街のあり方について、若手後継者やまちづくりに関わる若者を加えて組織を結成し、商店街活性化の取り組みを行う「商店街若手後継者サポート事業」を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	引き続き「商店街若手後継者サポート事業」を実施するもの。
	中長期的 (3~5年)	若手後継者等から提案された企画について、積極的に取り組む
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	商店街経営者の高齢化と後継者不足に対して、抜本的な施策が必要であり、商店街関係者の自主的な取り組みがなされるような仕組みづくりが必要である。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・地元商店街のにぎわいづくりと活性化のためには、必要な支援である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n (計 画)	主要施策名	にぎわいと魅力ある商店街の振興						
	施策区分	商店街の活性化						
	施策目標	地元商工業者の円滑な経営をサポートするため、資金繰り支援を目的に事業を実施するもの。						
	施策名	商店街活動の支援						
	施策の目的	商工業者の融資支援のため、金融機関への預託を行うとともに、保証料の助成や小規模事業支援のため、利子助成を行うもの。						
	H24最終予算額	605,047	千円	H24決算見込額	310,839	千円	H25当初予算額	535,948

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	金融対策事業					
	予算科目	7.1.3.1					
	実施状況	金融機関への預託金 298,900千円 保証料助成等 11,114千円 マル経融資利子助成 825千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	金融対策事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市内中小事業者への資金繰り支援は、重要な経済対策であり、円滑な経営がなされるためにも金融措置は必要と思われる。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	創業者支援資金の保証料を全額助成とし、市及び県の制度融資における保証料については、すべて全額助成として、金融支援措置を行い市内企業の経営支援を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	起業家(スタートアップ資金)に対する融資支援について検討する。
	中長期的 (3~5年)	経済情勢が好転しなければ、引き続き、金融機関の預託や保証料助成、マル経融資利子助成を継続して実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	市内企業の中では、既に限度額まで達している企業があることから、借換資金の需要なども確認しながら、対応について考慮していくことが必要ではないかと思われる。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・地方では、依然として景気の先行きが、不透明であり、地元商工業者の円滑な経営を支援するためには、必要である。</p>

## ■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 農業振興課

農政係

内線 421

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	地域資源を活用した観光を発信						
	施策名	温泉と観光施設との連携						
	施策の目的	宿泊施設と各種イベントとの連携を図り、滞在型の観光まちづくりを推進する						
	H24最終予算額	11,700	千円	H24決算見込額	11,599	千円	H25当初予算額	11,700

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	夢の平コスモス荘管理運営事業（指定管理）					
	予算科目	6.1.6.2					
	実施状況	夢の平コスモス荘指定管理料の支払 11,000千円 コスモス荘レストラン白蟻駆除 252千円 コスモス荘バルコニー手摺り取替修繕工事 347千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	夢の平コスモス荘管理運営事業（指定管理）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	9	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>B</b>			
	評価の理由等	利用者数が減少傾向にある。 経営方法の見直しも必要と考えられる。 地元との関係が深く、指定管理者の変更は難しい。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 引き続き、中山間地域ならではの長を活かした企画について、提案・指導を行うこと。 また、コスモス荘やペアリフト等の指定管理者更新時期をふまえ、一体管理を図るよう、次回更新時の平成25年度までに検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	企画について、施設利用プラン、イベント、食事メニューなど、年齢層や利用者層などターゲットを絞り込んだ企画を検討し、利用者の増加につながる提案や指導を行う。 また、観光関係機関や各種団体との連携強化を図り、誘客や利用者増に結びつくPR活動を推進する。 コスモス荘やペアリフト等の指定管理者更新時期をふまえ、散居村展望台やペアリフト等のコスモス荘周辺の観光レクリエーション施設との一体管理が行えるよう他施設所管課と協議を行う。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	コスモス荘やペアリフト等の一体管理を図るために、次回更新時には指定管理期間を平成26年度から29年度までとし、更新時期を統一する。
	今年度（H25）	四季を通じて、季節感のある中山間地ならではの独自企画を立案し、ターゲットを絞り込んだ誘客活動の展開。（食材の検討、将棋・囲碁大会の会場、小グループの合宿誘致等）  目標利用者数（施設全体） 対前年比 5%増

Action (改善)	来年度 (H26)	指定管理のあり方の検討 (基本協定:平成21年4月1日～平成26年3月31日) ・利用者増を図る上で指定管理料金の見直し 11,000千円 ⇒ 10,000千円
	中長期的 (3～5年)	中山間地域活性化施設ではなく、観光施設として観光振興戦略に基づく交流及び滞在人口の増大計画において、当該施設の位置付けを明確化し、関連施設及びイベントと連携した広域的な運用が必要。(農産物直売所、加工所、レストランの連携など)
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	当初より夢の平スキー場一体の施設等管理が地元委ねられており、これまでの経緯がある。

## ■所属長評価

施策としての総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  周辺施設(リフト等)と一体的な指定管理(期間・管理者)になるよう次回更新時に検討する。 H21～25の5年間、今回は期間をリフトに合わせてH26～29の4年間		

## ■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持		
今年度評価の理由			

## ■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	森林の多様な恵みを後世に引き継ぐため、森林及び施設等の保全と整備を実施する。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	牛岳遊歩道・ヒュッテの維持管理など						
	H24最終予算額	860	千円	H24決算見込額	569	千円	H25当初予算額	860

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	自然公園整備事業					
	予算科目	6.2.2.2					
	実施状況	牛岳ヒュッテ関連(27千円) 牛岳遊歩道補修(511千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	自然公園整備事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	ヒュッテは、牛岳登山、牛岳遊歩道の休憩地として、また、万に一つの避難場所として維持管理すべきであるため、平成24年度に全面改修(約3,000万円)を検討(補助事業を含め)したが、費用面から全面改修は当面行わないこととした。今後は、老朽化が特に著しいところから補修しながら施設の維持管理に努める。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	ヒュッテの維持管理に必要な補修箇所の調査を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	遊歩道・ヒュッテともに補修を行い、維持管理に努める。
	中長期的 (3~5年)	遊歩道・ヒュッテともに補修を行い、維持管理に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	予算（費用対効果）

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・牛岳登山、牛岳遊歩道の休憩地としてまた、万に一つの避難場所として維持管理すべきであり、施設の老朽化に伴い改修も必要が必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業	
前年度評価	<b>維持</b>	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	<b>改善</b>	
今年度評価 の理由	ヒュッテは老朽化し、また、利用者も限られていることから、今後の施設のあり方について検討すること。	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	地元の湯山地区や富山県山岳連盟と協議し、今後の施設のあり方について検討したい。
---------------------	---



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

農地林務課

林政係

内線 414

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	森林の多様な恵みを後世に引き継ぐため、森林及び施設等の保全と整備を実施する。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	市民の山の維持管理など						
	H24最終予算額	550	千円	H24決算見込額	238	千円	H25当初予算額	500

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	市民の山整備事業					
	予算科目	6.2.2.3					
	実施状況	市有林維持管理(238千円)					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	市民の山整備事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
	評価の理由等	A						
評価の理由等	市有林を維持管理して山を保全し、散策や活動の拠点としての機能を保つ必要がある							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	ありません。

Action (改善)	来年度 (H26)	ありません。
	中長期的 (3~5年)	ありません。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	ありません。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・市民の山、市有林は市民の憩いの場としてまた、治山の面からも適正に管理すべきである。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの</p> <p>①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの</p> <p>②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの</p> <p>③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの</p> <p>④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの</p> <p>廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

商工観光課

観光物産係

401

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	北陸新幹線の開業を2年後に控え、砺波市観光振興戦略プランに基づき、観光資源を活用し誘客増加を図る。						
	施策名	観光地施設の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	観光施設の適切な維持管理及び整備を行い、新たな観光資源の発掘や既存の観光資源の活用により、観光客へのサービスと誘客増加を図る。						
	H24最終予算額	44,037	千円	H24決算見込額	40,091	千円	H25当初予算額	42,423

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	観光地管理運営事業					
	予算科目	7.1.4.2					
	実施状況	夢の平レク地帯維持管理費7,140千円、夢の平リフト等指定管理料980千円、道の駅維持管理費 3,693千円、土地賃借料10,757千円、夢の平第4駐車場舗装整備4,830千円、道の駅砺波トイレ改修整備工事4,568千円、道の駅庄川アーケード設置工事1,995千円、散居村展望施設整備工事5,744千円等					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	観光地管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	砺波市の重要な観光資源をPRするため、夢の平第4駐車場舗装工事、山頂へ登るための駐車場整備及び散居村展望台からの眺望を確保するため立木の伐採等を実施した。 また、観光施設の維持管理のため予算を効率的・効果的に執行した。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 夢の平レクリエーション地帯の管理については、スキー場リフト等とコスモス荘の指定管理者更新時期をふまえ、一体的管理を図るよう、次回更新時の平成25年度までに検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	夢の平レクリエーション地帯の管理については、スキー場リフト等とコスモス荘との一体的管理を実施できるよう、商工観光課と農業振興課で協議・調整を図る。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	夢の平ペアリフトの指定管理期間は、平成23年4月1日から平成30年3月31日までの7年間である。今回更新時期を迎えるコスモス荘の指定管理期間をペアリフト指定管理期間と合わせ、平成31年4月からの更新は、一体的に取り扱うものとする。
	今年度（H25）	砺波市の観光施設を整備し、効果的活用を図り誘客増加に繋げる。 ・夢の平ペアリフト改修整備（11,463千円） ・道の駅庄川トイレ様式化等整備（6,000千円）

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波市の観光施設を整備し、効果的活用を図り誘客増加に繋げる。
	中長期的 (3~5年)	庄川水記念公園周辺でイベントを開催する際に駐車場が不足するため、駐車場を整備していく必要がある。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	観光施設が老朽化しているため、更新計画を立てて整備していく必要がある。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・観光振興戦略アクションプランに基づき事業であり、通年型・滞在型観光推進のためには必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業	
前年度評価	<b>改善</b>	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	<b>維持</b>	
今年度評価の理由		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n ( 計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	砺波市観光振興戦略プランに基づき、観光資源を活用し誘客増加を図るため、チューリップ四季彩館を指定管理するとともに必要な整備を行う。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	チューリップ四季彩館の適切な維持管理及び整備を行い、観光客へのサービス向上に努め、誘客増加を図るもの。						
	H24最終予算額	108,222	千円	H24決算見込額	107,761	千円	H25当初予算額	110,664

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	四季彩館管理運営事業（指定管理）					
	予算科目	7.1.4.4					
	実施状況	指定管理料 87,500千円 土地賃借料 8,963千円 空調設備・球根貯蔵冷蔵設備改修整備工事等 11,298千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	四季彩館管理運営事業（指定管理）						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	花と緑に関する地域振興等に貢献するとともに、チューリップに関する情報の収集・発信を実施した。 また、更新計画に基づき施設の改修工事を実施した。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	指定管理更新に伴う施設管理委託内容の見直しを行う。 ※現在の指定管理期間は、平成21年4月1日～平成26年3月31日までである。  （仮称）四季彩館展示改装検討委員会の設置

Action (改善)	来年度 (H26)	(仮称) 四季彩館展示改装計画の基づき、リニューアルを実施
	中長期的 (3~5年)	施設が老朽化しているため、計画的な整備を実施する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	施設利用者のニーズ把握と民間意識を持った管理運営が必要である。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・チューリップのまち砺波として、1年中チューリップを見ることが出来る市の重要な観光施設であり、必要である。 建設から18年以上が経っており、計画的な施設設備改修工事が必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	砺波市観光振興戦略プランに基づき、観光資源を活用し誘客増加を図るため、ふれあいプラザ、特産館、ウッドプラザを指定管理し、必要な整備を図る。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	庄川水記念公園建物の適切な維持管理及び整備を行い、新たな観光資源の発掘や既存の観光資源の活用により、観光客へのサービスと誘客増加を図る。						
	H24最終予算額	16,608	千円	H24決算見込額	16,547	千円	H25当初予算額	17,442

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	水記念公園施設管理事業②（指定管理）					
	予算科目	7.1.4.5					
	実施状況	指定管理料（ふれあいプラザ、特産館、ウッドプラザ） 15,000千円 施設工事 1,359千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	水記念公園施設管理事業②（指定管理）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	施設の適切な維持管理が行われ、多様化する消費者ニーズに対応するため指定管理者である庄川峡観光協同組合の方で「庄川温泉郷活性化ビジョン」を策定した。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 水記念公園の施設管理（庄川特産館、ウッドプラザ、庄川ふれあいプラザ）については、施設と公園の一体的管理が図られるよう、平成25年度の指定管理選定の際に調整を図ること。
	前年度二次評価に対する改善策	庄川水記念公園の施設（庄川特産館、ウッドプラザ、ふれあいプラザ）と公園を一体的に管理できるよう、商工観光課と地域振興課で協議・調整を図る。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	庄川水記念公園の施設（特産館、ウッドプラザ、ふれあいプラザ）と公園を一体的に管理できるよう、指定管理募集要項作成時まで協議・調整する。
	今年度（H25）	庄川水記念公園施設の指定管理者選定について、委託内容の見直しを行う。 ※現在の指定管理期間は、平成22年4月1日～平成26年3月31日までである。

Action (改善)	来年度 (H26)	適切な施設管理と更なる利用者人数増加に努める。
	中長期的 (3~5年)	施設が老朽化しているため、計画的更新整備を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・水記念公園施設は、庄川地区の重要な観光施設であり、計画的な管理修繕が必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業	
前年度評価	<b>改善</b>	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	<b>維持</b>	
今年度評価 の理由		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 都市整備課 都市計画係 内線 241 242

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	チューリップフェアに来ていただいた方や公園を利用される方に、気持ちよく公園を利用していただく。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	チューリップ公園の適正な管理を行う。						
	H24最終予算額	47,381	千円	H24決算見込額	47,318	千円	H25当初予算額	47,175

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	チューリップ公園管理事業	
	予算科目	8.4.3.2	
	実施状況	チューリップ公園の管理を指定管理者である、砺波市花と緑の財団に委託した。	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	チューリップ公園管理事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			
	評価の理由等	チューリップフェアの主会場である公園であり、適正に管理する委託業務として必要である。			

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 チューリップ公園の管理については、指定管理者に管理させている事業(樹木管理事業等)が、他事業者に丸投げしている実態が多々見受けられる。 指定管理者が直接的に施設管理を行うことが本来の指定管理の姿であると自覚を促すよう指導を行うとともに、コスト削減を図ること。
	前年度二次評価に対する改善策	指定管理者(公益財団法人花と緑の財団)の業務状況を確認のうえ、費用面からも直営可能なものについては、再委託することのないように指導する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	少しずつは改善されているが、まだ改善の余地があることから、引き続き指導を行う。
	今年度(H25)	公園の樹木が年を経るごとに成長し、指定管理者で行える範囲を超えた樹木が増えており、維持管理費の増加が懸念される。 引き続き、直営可能な業務を洗い出し、直接管理するよう指導する。 また、施設の老朽化が顕著なものが増えており、長寿命化計画に基づき修繕を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	経年劣化による再整備が必要な施設については、長寿命化計画に基づき修繕を実施する。
	中長期的 (3~5年)	経年劣化による再整備が必要な施設については、長寿命化計画に基づき修繕を実施する。 公園再整備計画に基づき、通年利用者が増加するよう施設整備を行う。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	維持管理費の軽減に努めたいが、施設整備から20年程度経過している施設が多く、再整備が必要な時期にきており、施設の更新に費用が必要である。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市を代表する都市公園として、またチューリップフェアの主会場として維持管理が必要であるが、整備後の経年による老朽、段差解消など再整備が必要であり、再整備検討委員会を設置し検討する。 また、長寿命化計画に基づく補助事業を活用し、維持管理のしやすい公園の整備を計画する。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	<b>改善</b>	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	<b>改善</b>		
今年度評価 の理由	チューリップ公園の管理業務については、本来、管理事業者である花と緑の財団の職員が実施するものである。管理業務を他の業者に委託することは、高木の管理など職員による管理が難しい場合に限るなどの状況に応じた管理を行わせるとともに、財団職員が管理業務に取り組むよう改善すること。		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	チューリップ公園の管理業務については、財団職員での管理が難しい場合（高木の維持管理など）を除き、自ら行うよう引き続き指導監督する。
---------------------	---

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 地域振興課

内線

Plan (計画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	庄川地域に関する歴史・文化・自然を活かした観光施設として市民、観光客に親しまれている庄川水記念公園、瓜裂清水、小牧観光会館等の観光施設について、適正な管理運営及び維持修繕を図る。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	庄川水記念公園の指定管理のほか、瓜裂清水及び小牧公衆便所を含む観光施設の管理運営に努める。						
	H24最終予算額	9,844	千円	H24決算見込額	9,730	千円	H25当初予算額	34,755

## 平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	水記念公園施設管理費①（維持管理）					
	予算科目	7.1.4.5					
	実施状況	指定管理委託料8,650千円、観光施設管理委託料702千円、舟戸公園遊歩道キャビネット修繕工事費249千円、その他事務費等129千円					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	水記念公園施設管理費①（維持管理）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	観光地に相応しい受け入れ態勢を築き上げるため、指定管理業者との打合せ会を月1回実施し、連携を図りながら情報交換を図り、適正な施設管理に努める。また、舟戸公園遊歩道のキャビネット修繕等公園整備を行った。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 水記念公園の施設管理（公園）については、施設と公園の一元管理が図られるよう、平成25年度の指定管理選定の際に調整を図ること。
	前年度二次評価に対する改善策	水記念公園の施設管理（公園）については、平成25年度の指定管理者選定の際に管理所管部署を決め、施設と公園の一元管理に向け調整を図る。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	水記念公園の施設管理（公園）については、平成25年度の指定管理選定の際に指定管理部署を決め、施設と公園の一元管理に向け調整を図る。
	今年度（H25）	本年度で指定管理契約期間が終了するが、公園が庄川峡の観光拠点となり、イベント等集客や施設管理のために公園と建物を一元的に管理の方がより効果的な運営が計れるため、指定管理者についても一本化を図る必要がある。

Action (改善)	来年度 (H26)	より適正な施設管理を図るため、指定管理者と行政との調整、各施設との連携、イベント時の打合せなどを通じて、調査・研究する必要がある。
	中長期的 (3~5年)	庄川水記念公園、瓜裂清水、小牧観光会館の施設維持管理について、経年劣化による維持修繕箇所があり、安全対策を含め中長期に検討する必要がある。また、施設整備と共に滞在型観光地としての施設の観光戦略に取り組む。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	庄川水記念公園施設は、平成21年より新たな指定管理者のもと、今まで以上にきめ細やかな公園管理が実施され、来場者も増え成果もあがっているが、今後は、庄川水資料館や庄川美術館との各施設との連携を図り、一元的指定管理により事業を推進する必要がある。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>水記念公園の施設管理（公園）については、施設と公園の一元管理が図られるよう、平成25年度の指定管理選定の際に調整を図ること。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	<b>改善</b>	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	<b>維持</b>		
今年度評価 の理由			

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光振興戦略班 内線 405

P l a n ( 計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光宣伝・誘客の推進						
	施策目標	観光振興戦略の推進						
	施策名	観光情報発信の充実						
	施策の目的	本市観光振興を推進させるとともに、交流及び滞在人口を拡大し、地域活性化に繋がるまちづくりを進める。						
	H24最終予算額	318	千円	H24決算見込額	123	千円	H25当初予算額	183

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o ( 実 施)	事業名	観光推進戦略事業費					
	予算科目	7.1.4.1					
	実施状況	観光振興戦略プラン及びそのアクションプランに基づき、関係課と連携を図りながら、事業推進を行った。					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k ( 評 価)	事業名	観光推進戦略事業費						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>			
	評価の理由等	平成23年度に策定したアクションプランに基づき、（一社）砺波市観光協会等の各団体や関連課と連携を図り、事業を実施した。						

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n ( 改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	観光振興戦略委員会によるプランの検証や見直し等を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	観光振興戦略委員会によるプランの検証や見直し等を実施する。
	中長期的 (3~5年)	砺波市観光振興戦略プランの期間が平成27年度となっていることから、平成28年度からのプラン策定が必要となる。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	特になし

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・評価や検証は、観光振興戦略プラン及び同アクションプランを維持する上で、重要な事業である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持
今年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光宣伝・誘客の推進						
	施策目標	砺波市観光振興戦略プランに基づき、通年型・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図るため官民一体となって取り組む。						
	施策名	観光情報発信の充実						
	施策の目的	北陸新幹線の開業を2年後に控え、砺波市観光協会及び関係機関・団体と連携し、砺波の魅力を全国へ発信し、誘客増加を図る。						
	H24最終予算額	60,791	千円	H24決算見込額	56,075	千円	H25当初予算額	68,521

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	観光宣伝事業					
	予算科目	7.1.4.3					
	実施状況	重点分野雇用創造事業17,681千円、メディア招聘事業1,000千円、大学連携庄川魅力アップ事業1,000千円、観光推進事業1,500千円、各協議会負担金4,084千円、観光協会イベント金等10,600千円、観光協会運営補助金10,420千円、コンベンション開催補助金1,324千円等					

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	観光宣伝事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	砺波市観光協会及び関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、効果的な観光宣伝を行い各種イベントを実施した。 緊急雇用創出事務を委託し、雇用を確保し効果的な事務を実施した。							

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	砺波市観光協会及び各種と連携しながら、効果的な観光PRを行い、砺波市内で開催されるイベントへの更なる誘客アップを図る。 北陸新幹線開業1年前関連イベントを県、県観光連盟、関係団体とともに開催する。

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波市観光協会及び各種と連携しながら、効果的な観光PRを行い、砺波市内で開催されるイベントへの更なる誘客アップを図る。 北陸新幹線開業関連イベントを県、県観光連盟、関係団体とともに開催する。
	中長期的 (3~5年)	北陸新幹線開業を見据え、関東方面へのPR等を強化する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。  ・観光振興戦略アクションプランに基づく事業であり、通年型・滞在型観光推進のためには必要である。

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--



# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n (計 画)	主要施策名	安定した魅力ある雇用環境の確立						
	施策区分	雇用機会の提供支援						
	施策目標	現在の雇用環境は、若干持ち直しの兆しが出てきているものの、市内企業の工場再編や倒産などにより不安定要素が多々あることから引き続き雇用対策を行う。						
	施策名	雇用条件・就労環境の安定支援						
	施策の目的	労働相談会や就職相談会(地域ふれあい説明会)のほか、高校生の企業訪問研修を行い就労意欲の高揚を図る。						
	H24最終予算額	280	千円	H24決算見込額	209	千円	H25当初予算額	280

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	勤労者福祉対策事業①	
	予算科目	5.1.1.1	
	実施状況	中小企業雇用安定支援事業 30千円 高校生企業訪問支援事業 158千円 地域ふれあい説明会 21千円	

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	勤労者福祉対策事業①			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A 市内企業の経営者や従業員を対象とした労働相談会や就職相談会を商工団体や労働機関と連携しながら実施することは極めて重要であり、今後も継続して実施することが必要である。 また、高校生の企業訪問についても、就労意欲の高揚を図るためには、引き続き実施することが重要であり、学校側との連携を図りながら開催していく。			

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	中小企業雇用安定支援事業 90千円 高校生企業訪問支援事業 160千円 地域ふれあい説明会 30千円

Action (改善)	来年度 (H26)	中小企業雇用安定支援事業 90千円 高校生企業訪問支援事業 160千円 地域ふれあい説明会 30千円
	中長期的 (3~5年)	中小企業雇用安定支援事業 90千円 高校生企業訪問支援事業 160千円 地域ふれあい説明会 30千円
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	将来的には、高校生企業訪問事業や地域ふれあい説明会については、南砺市や近隣市との合同開催も視野に入れていく。また、労働相談会については、商工団体の積極的な取り組みについて支援を行うことが今後必要ではないかと思われる。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・失業者の雇用対策や高校生に企業訪問の機会を与え、就労意欲の向上と人材育成のためには必要である。</p>

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

# 平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 商工係 内線 402

P l a n (計 画)	主要施策名	安定した魅力ある雇用環境の確立						
	施策区分	職業訓練・勤労者福祉の充実						
	施策目標	雇用機会の創出を図るため、職業訓練施設への支援を行うとともに、勤労者の福祉向上のための資金繰り支援も引き続き行うことが必要である。						
	施策名	職業訓練の充実						
	施策の目的	市民の就労機会を確保するためには、職業訓練の場が必要であり、訓練機関への支援を引き続き実施する。また勤労者を対象とした融資制度については、金融機関への預託を継続して行う。						
	H24最終予算額	34,435	千円	H24決算見込額	34,435	千円	H25当初予算額	34,435

## 平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	勤労者福祉対策事業②								
	予算科目	5.1.1.1								
	実施状況	富山県技術専門学院砺波センター	80千円	砺波板金高等職業訓練校	70千円	砺波建築高等職業訓練校	85千円	北陸労働金庫預託金	29,000千円	富山県勤労者信用基金協会預託金

## 平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	勤労者福祉対策事業②							
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。					
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）					
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）					
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。					
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 <b>A</b>				
評価の理由等	雇用創出に向けての取り組みについては、職業訓練は重要な条件の一つとなっていることから引き続き支援を行うことが必要である。また、勤労者に対する融資支援についても継続して実施していく。								

## 事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由									
	前年度二次評価に対する改善策									
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況									
	今年度（H25）	富山県技術専門学院砺波センター	80千円	砺波板金高等職業訓練校	70千円	砺波建築高等職業訓練校	85千円	北陸労働金庫預託金	29,000千円	富山県勤労者信用基金協会預託金

Action (改善)	来年度 (H26)	富山県技術専門学院砺波センター 80千円 砺波板金高等職業訓練校 70千円 砺波建築高等職業訓練校 85千円 北陸労働金庫預託金 29,000千円 富山県勤労者信用基金協会預託金 5,200千円
	中長期的 (3~5年)	北陸労働金庫預託金 29,000千円 富山県勤労者信用基金協会預託金 5,200千円 各職業訓練施設への支援については、訓練内容や訓練生の状況を確認しながら見直しを行っていくことも検討していく。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	時代の変遷とともに、訓練内容についても見直しを行うことが必要であり、民間事業への委託などについても将来的に検討すべきであると思われる。

## ■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>A評価</b>	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	<b>B評価</b>	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	<b>C評価</b>	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・職業訓練施設は、市民に就労の機会を創出するため、必要な施設であり、また、勤労者へ融資制度も勤労者の福祉向上のために、預託は必要である。</p>		

## ■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

## ■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--